

6 - 1 1 内陸部の地震空白域における地殻変動連続観測

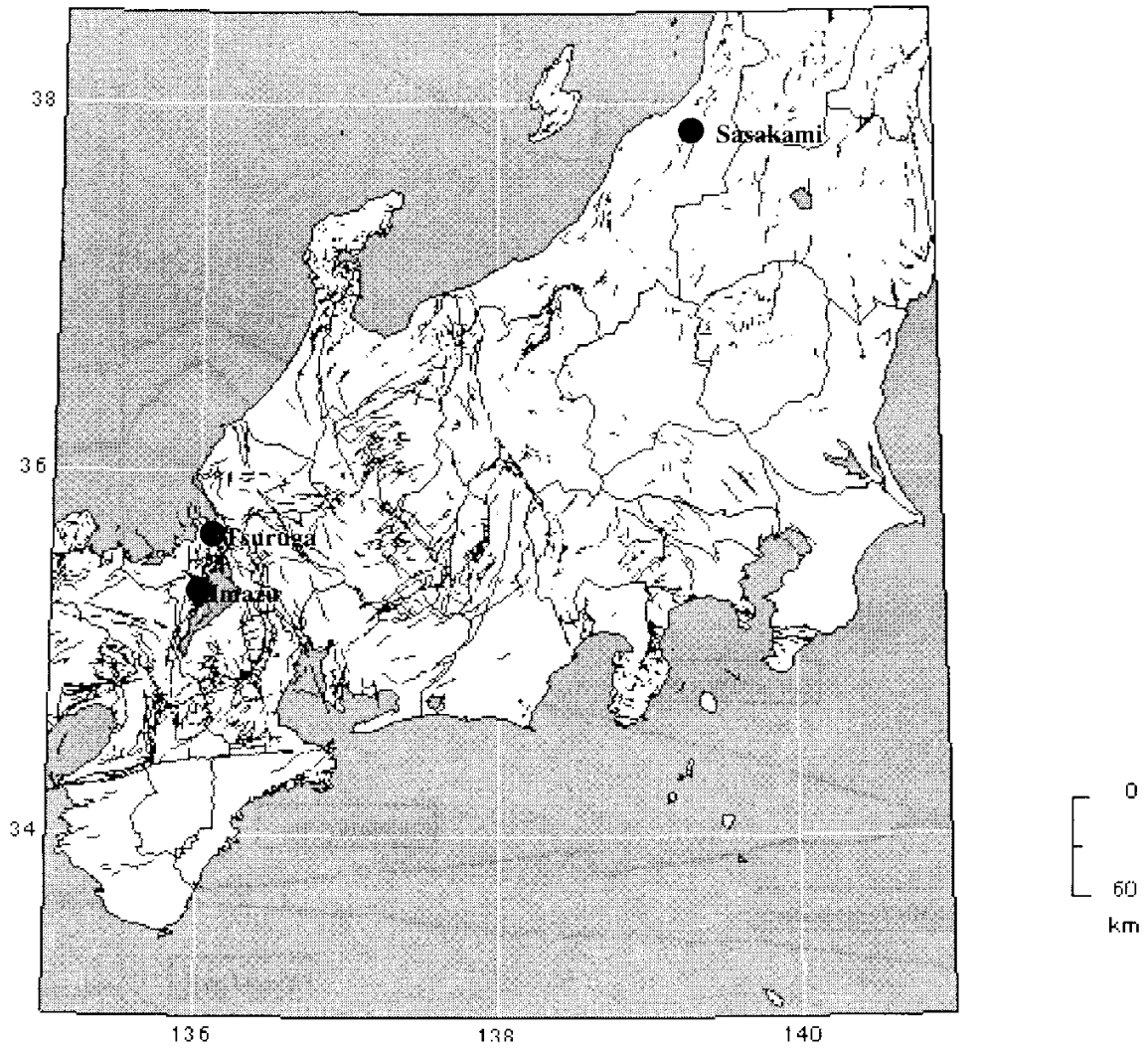
Continuous Observations of Crustal Deformations in and around Intraplate Seismic Gaps

気 象 研 究 所

Meteorological Research Institute

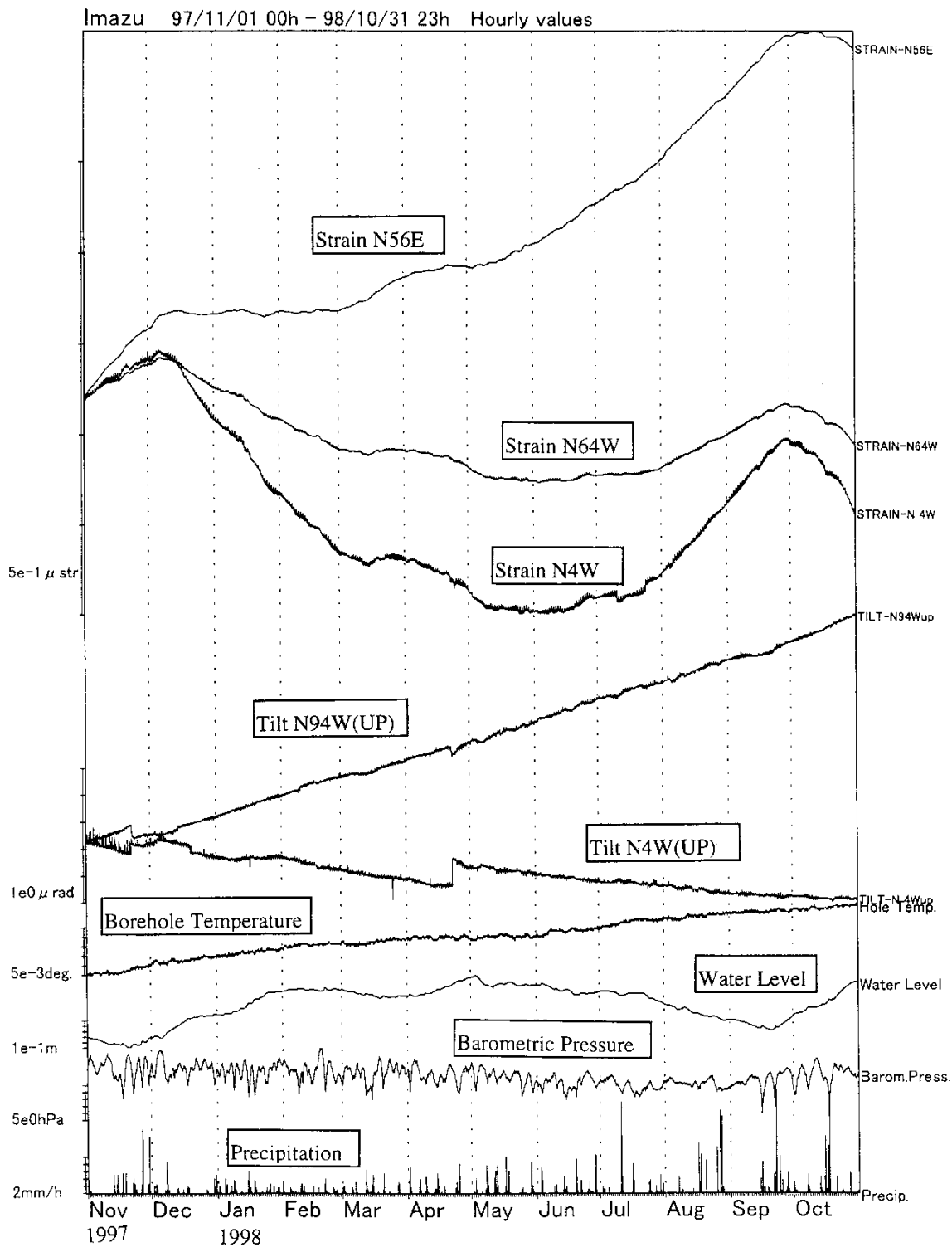
気象研究所では、いわゆる「内陸部の地震空白域」の調査研究のため、今津(滋賀県, 35° 25'18"N, 136° 00'52"E), 敦賀(福井県, 35° 37'04"N, 136° 04'12"E)及び笹神(新潟県, 37° 49'09"N, 139° 18'59"E)に、石井式三成分歪計、傾斜計等から成る地殻変動観測施設を設置し(第1図)、1996年5月より連続観測を行っている。

第2~4図に今津・敦賀・笹神観測点の1997年11月~1998年10月の観測データをそれぞれ示す(時間値)。どの観測点においても、途中で電源系統の障害によると思われるデータの跳躍があったが、図では可能な限り前後のデータを接続して示している。



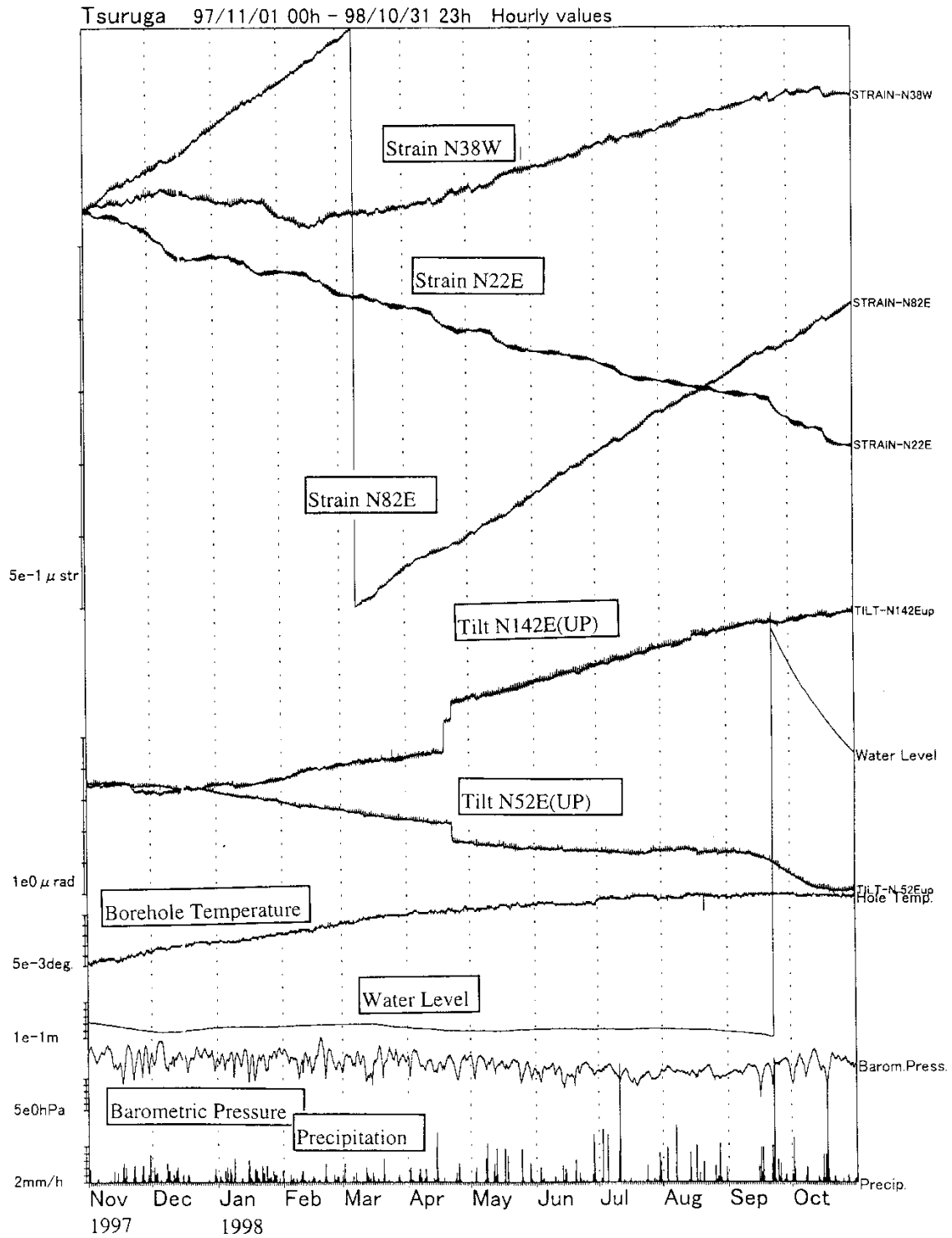
第 1 図 今津・敦賀・笹神観測点の位置

Fig.1 Locations of crustal deformation observation stations(Imazu, Tsuruga, Sasakami)



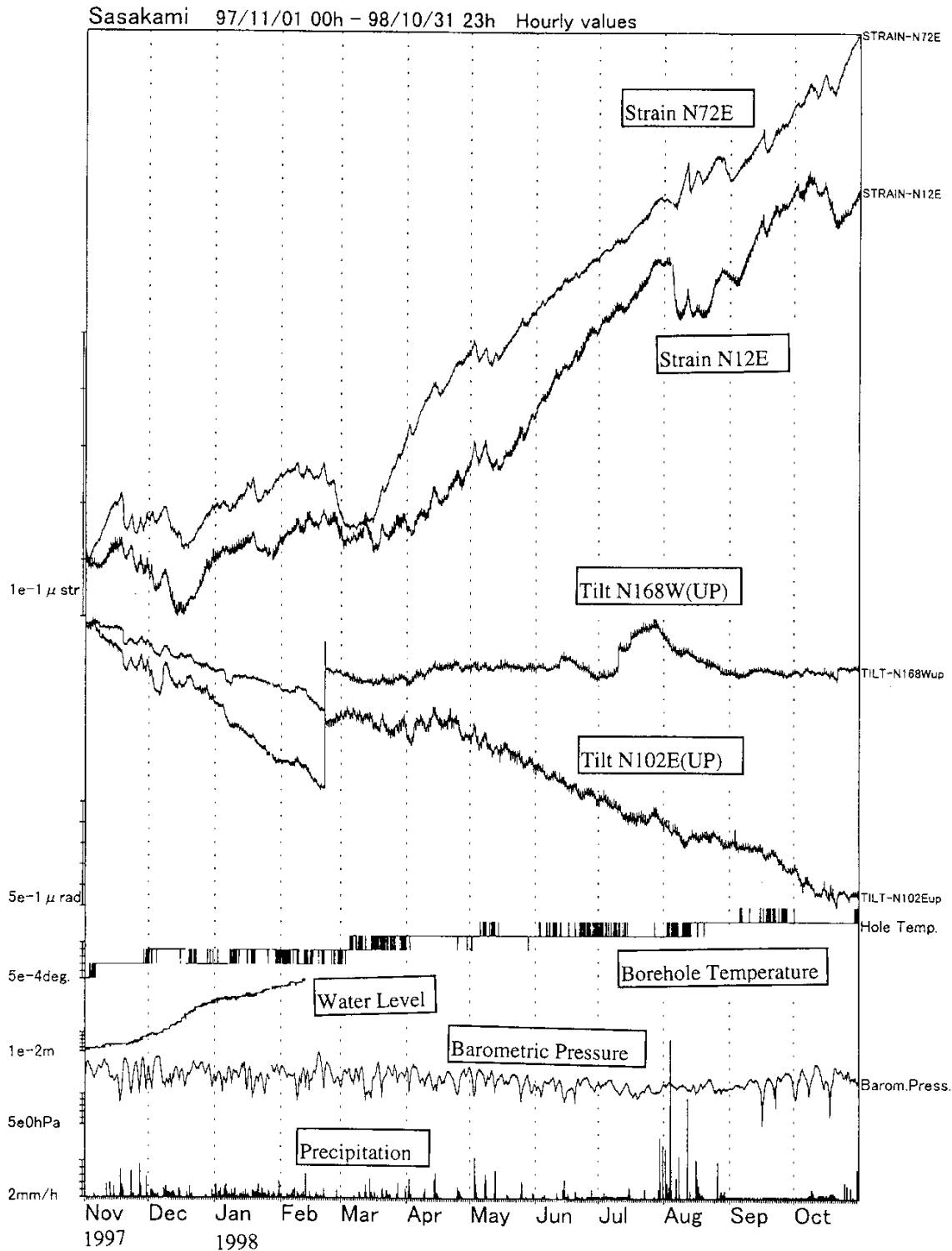
第2図 1997年11月～1998年10月の今津観測点における歪・傾斜変化(時間値)

Fig.2 Changes of crustal strain and tilt at Imazu, Nov.,1997-Oct.,1998(Hourly values).



第3図 1997年11月～1998年10月の敦賀観測点における歪・傾斜変化(時間値)
 1998年9月22日以降の地下水位変化は台風7号による観測井の水没のため。

Fig.3 Changes of crustal strain and tilt at Tsuruga, Nov.,1997-Oct.,1998(Hourly values). Water level has gone up because of the flood on Sept.22,1998 caused by Typhoon No.7.



第 4 図 1997 年 11 月 ~ 1998 年 10 月の笹神観測点における歪・傾斜変化(時間値)

3 成分歪計の N48° W 方向成分は 1996 年 10 月 15 日以降欠測。

地下水位は 1998 年 2 月 12 日より故障により欠測。

Fig.4 Changes of crustal strain and tilt at Sasakami, Nov.,1997-Oct.,1998(Hourly values).

Strain of N48W direction has not been observed since Oct.15,1996. Water level has not been observed since Feb.12,1998.